

Information of Kagamifuchi

2026. 1. 15

新潟市立鏡淵小学校

1月7日 全校朝会 校長講話より

春からの自分を思い描いて

冬休みが終わり、こうしてまた、学校にみんなの元気な姿が戻ってきました。新しい年の始まりです。今年もよい年にしていきましょう。

（昨年末のテレビ放送「学校のお宝紹介」の
写真を提示）

大晦日の夕方、テレビ番組で鏡淵小学校が紹介されました。見た人も多んじゃないかと思います。



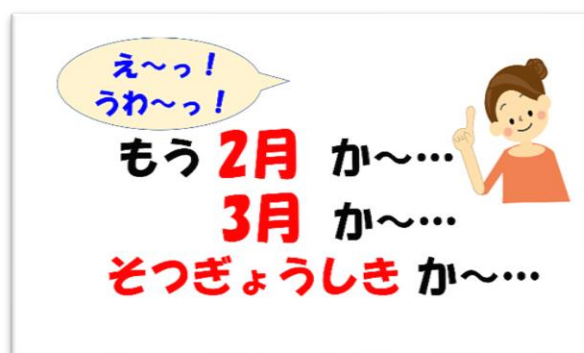
学校に来た人たちが「すごーい！きれい！」と驚く、広い芝生のグラウンド。卒業生の思いが詰まっているタイムカプセル。ずっと前から学校にある柱時計は、20年くらい前に修理してもらい、今も元気に動いています。

校歴室に大切にあってある昔の写真やアルバム。昔の学校の様子を今に伝える鬼瓦や当時の学習用具。「学校の場所は昔、白山駅だった」という証に寄贈された郵便ポスト、明治天皇のお言葉を記した掛け軸、卒業生の黒井 健さんのメッセージや本（図書館の専用コーナー）など、皆さんが普段、過ごしている学校には、他校の人たちが見たら「すごいな～」と思うようなお宝がたくさんありましたね。

教頭先生と同窓会長さんが、学校の昔のことをたくさん調べ、取材に来た人たちに、とっても分かりやすく紹介してくださいました。番組を見て、皆さんも鏡淵小学校のことがもっと好きになり、嬉しい気持ちや誇らしい気持ちになったのではないのでしょうか。

さて、これからの時期、どこの学校でも子どもたちや先生たちから、「え～っ！もう2月か」「もうすぐ卒業！早いよね！」といった言葉がよく聞かれるようになります。皆さんも友達や先生、おうちの人に言ったことがあるかもしれませんね。

昔から、1～3月はとても早く過ぎていくとされています。こんな言葉があります。



1月は「行く」 ～ あっという間に行ってしまう。

2月は「逃げる」～ 追いかけても、逃げるように過ぎていく。

3月は「去る」 ～ 気がつくと、「え、もう終わりなの？」となっている。

1～3月が、これまでより早く感じるのは、どうしてなのでしょう。私も不思議に思ったので、少し調べてみました。その理由は、3つあるようです。

1つめ やることがいっぱいあるから

Q 1～3月は、なぜ早くすぎていくの？

A やることがいっぱいあるから

まとめの勉強

「ありがとうウイーク・フィナーレ」
白山小学校との交流会（ひだまり学級）



新しい委員会 「にこ森班」
中学校の入学説明会 卒業式練習

2つめ 一年の「ゴール」が見えてくるから

Q 1～3月は、なぜ早くすぎていくの？

A 「ゴール」が見えてくるから



今の学年が終わっていく
中学校の入学説明会 いよいよ卒業が…

ひとつ上の「お兄さん、お姉さん」になる

3つめ 毎日の学校生活が当たり前になり、ずっと同じように感じるから

新しい学年、新しい教室、新しい先生 ～
春のころは、「初めて」なことがいっぱい、
今よりも、時間がゆっくり過ぎていく感じだ
ったと思います。

今、皆さんには、「いつもの学校・学級での
生活」があり、「いつもの友達、いつもそばに
いてくれる先生たち」がいます。それらのこ
とが、頭の中で「当たり前のこと、ずっと変
わらず同じこと」となり、数か月のことも短
く感じられるのだそうです。

Q 1～3月は、なぜ早くすぎていくの？

A 毎日の学校生活が
「あたりまえ」に感じるから

いつもの学校 いつもの教室
いつもの友達
担任の先生 教科の先生
いつも気にかけてくれている先生たち



さっきの「学校のお宝紹介」、皆さんにとっては、いつもの見慣れた学校、同じ景色に見えるかもしれませんが、いろいろな人たちから見ると、「すごいなあ！」と思えることがたくさんあるのですね。

これからの時期が早く過ぎていくのは、「ぼーっとしているから」とか、「さぼっているから」ではなく、「毎日、一生懸命にがんばっているから」なのだそうです。だから、「何をがんばるか」「どんな自分になりたいか」というめあてをもつことは、とても大切です。

皆さんはこれまで、先生や友達と一緒に、勉強や活動、行事にしっかりと取り組んできました。ここから3月までは、時間がどんどん過ぎていくように感じるでしょう。

「3月の終わりまで、自分はどんなことをがんばるか」「4月には、どんな中学生、どんな『お兄さん、お姉さん』になりたいか」を考え、これからはがんばってほしいと思います。

今年も先生たちみんな、皆さんを応援していきますよ。